

公益社団法人 四万十市中村野菜価格安定基金協会

組織形態：第三セクター

取組範囲：四万十市中村地域

法人設立：平成元年3月13日

所在地：四万十市竹島4294-1（四万十市立四万十農園あぐりっこ研修センター内）

資本金等：年会費（JAと市が各100万円）

役員：理事3名、監事1名

従業員：正職員1名、臨時職員4名

事業内容

- ・農業生産：施設トマト 45a
- ・新規就農研修：トマト
- ・価格差補給金事務

資本装備（市所有施設等を利用）

- ・施設等：タッチライト型ハウス15a 6棟（うち環境制御装置・ポットファームシステム4棟）
AP30ハウス4a 1棟

活用した補助金等

- ・国事業：経営体質強化施設整備事業
- ・県事業：複合経営拠点支援事業

設立の経緯

主要野菜の価格低落時に価格差補給交付金を交付することで、主要品目の育成や生産者の経営安定を図り、消費地への安定供給体制を構築することに加え、農業の担い手の確保・育成、農業生産性の向上等に係る諸事業を総合的に実施し、四万十市の園芸農業の発展に寄与することを目的として設立。

事業戦略

トマトとピーマンを中村地域の主要品目に位置づけ、収量向上技術の確立や、産地提案書による新規就農者の確保対策を進め、目標とする販売額の達成と担い手の確保につなげる。

取り組みの特徴

市から指定管理を受けている施設のうち研修ハウス6棟は、新規就農に向けた研修用として使用するほか、新規就農者や篤農家に貸し出せるようにしている。6棟のうちトマト用の4棟は、県外先進事例を参考にポットファームシステムを導入しており、効率的な多収生産を目指している
(現在3棟使用)



作成日：令和5年6月現在